

令和5年度 医療安全担当者研修会 実施状況

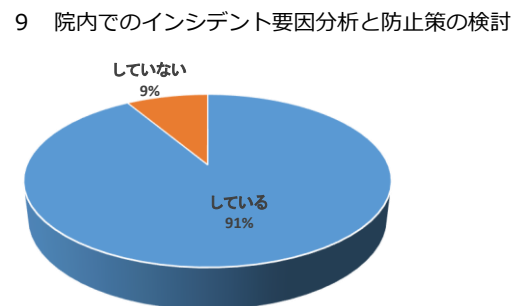
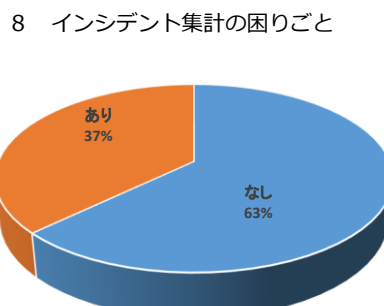
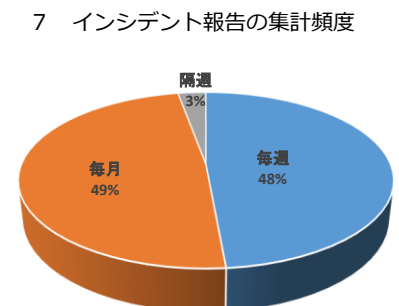
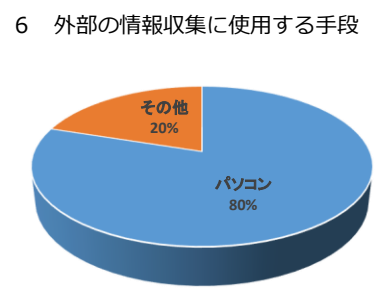
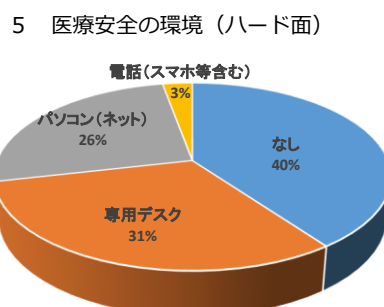
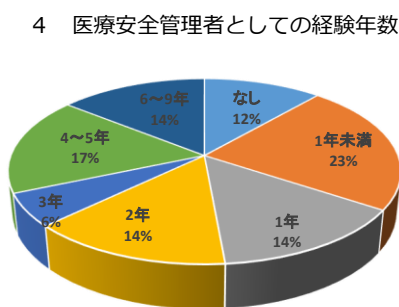
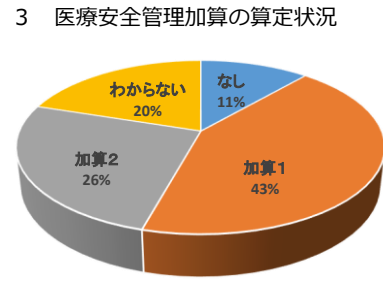
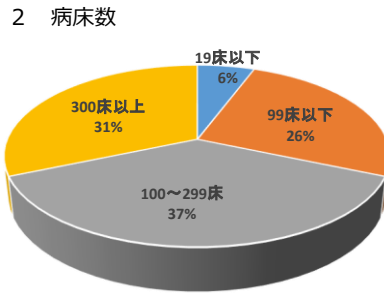
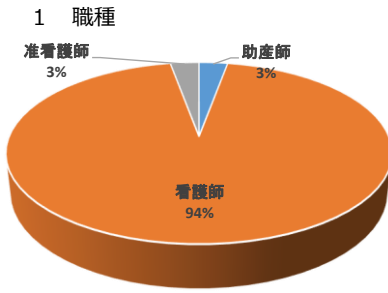
◇開催日時：令和5年5月26日（金）10：00～16：00

◇会場：リンクステーションホール青森 4階 中会議室

◇参加人数：43人 アンケート回収：35人 回収率81%

◇テーマ：多職種チーム医療における心理的安全性part2

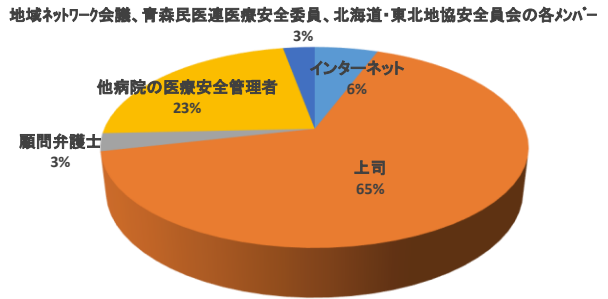
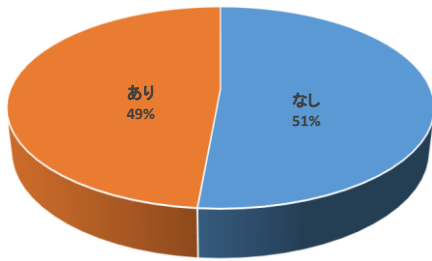
◇講師：近畿大学病院安全管理部・医療安全対策室 教授 辰巳陽一



インシデント集計の困りごとの内容
件数と詳細が不明なレポートがある
発生日で集計しているが、2ヶ月前とかの提出がある
紙ベースなので入力がとても大変、数が多い
提出率悪い、医師がだしてくれない
仕事終了後に時間作って集計している
正しいのか意見が欲しい
まとめ方
現在の分類で集計していると「その他」が多くなり、更に「その他」を分類している。他院はどのように分類しているのか。
対策が「ダブルチェックの徹底」「6Rの徹底」で具体性がないこと

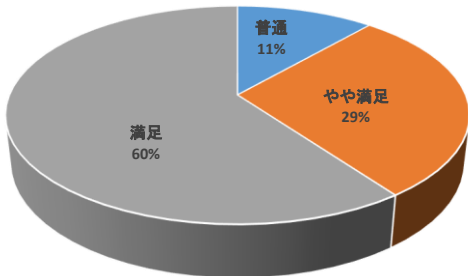
防止策検討の詳細
週一回の定例会と月一回のリスクマネージャー会議で。
RCAを使用している
薬剤指示出し、指示受けの見直し

1 0 インシデント要因分析と防止策検討の困りごと 1 1 医療安全活動で困ったときの相談相手



インシデント要因分析と防止策検討の困りごとの内容
要因が不明瞭なことがある
分析が部署とできない
ルールの遵守
要因が一緒になると、特に転倒などは一緒の対策になってしまう
立案された対策が実施されていない。
分析方法
院内の防災マニュアルの作成が進んでいない
要因分析が難し局的確にできない。その為、防止策も曖昧なものになってしまう。
ImSAFER分析は時間がかかる。現在POAM分析をTRYしている

1 2 研修会満足度



1 3 ご意見・ご感想

レジリエンスに関する研修を行って欲しい。
また来年も受講したいです。
研修でまた安全意識が高まりました。講師の先生の熱が伝わりました。
大きな学会に行かなければ聞けない、辰巳先生の研修を受けることができ良かったです。またお話を伺いたいです。
今回の講義の内容を生かして行きたい。
とても楽しく、貴重な時間を過ごさせていただきました。導入までのお話もいつか機会があれば、お聞かせ願えればと思います。ありがとうございました。
院内スタッフ間の相互理解に向けて、今以上に紹介していこうと思います。
辰巳先生の講義はわかりやすく、参考になる事ばかりでした。是非、TeamStepsについても講義をしていただきたい。
他職種チームにける心理的安全性について講演を聞き、他職種の専門性を持った発言を大事にし目的に対して協働して解決する必要性を学ぶことができました。院内で心理的安全性を普及させるには概念をきちんと伝える必要があるとも言事も学ぶことができ良かったです。また、安全に関わる他施設の方との交流では、悩んでいることを共有でき、解決方法などを情報交換することが出来とても良かったです。
辰巳先生の講義はとても楽しく時間があっという間に過ぎてしまいました。交流会は、2回開催して頂きたい。他施設の方々と情報共有しましたが時間が足りませんでした。
講師は早口で何を言ってるかほぼわからなかった。休憩も取らず、グループワークは密でつらかった。消毒も置いてない。コロナ緩和したとは言え、医療従事者の集まりなのに危機管理が甘いと感じる。

